見附市立見附小学校　学校だより
「自ら学び　進んで鍛え　共に伸びる見小の子」

みしょう

No. ３４４
令和６年１月 26 日（金）発行
〒954－0052
見附市学校町１丁目３番 89 号
Tel　0258（62）0141
https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/

睦月点描

校長　後藤　正美

【失敗を生かす子】

> みなさんは勉強が好きですか。ぼくは大きらいでした。計算と漢字も苦手で、やる気にならなかったからです。でも、今はちょっと違います。算数のとき、学級で一番速く拡大図をかくコツが分かって、かけたときに勉強が楽しいと思ったのです。
> 三学期は、「きらいだからやらない。」のではなく、「やったら分かって楽しくなるかも。」という気持ちで、授業中も宿題も自学もがんばります。（後略）

これは、始業式でめあて発表をした６年生Ａさんの作文です。私はこの発表を聞いて唸りました。伸びたいという心持ちを抱くＡさんの姿がまぶしかったからです。自身の苦手を受け入れ、自らの意志で次の目標を決めていく。これは、大人でも難しいことです。人間は失敗する生き物であり、その失敗を次にどう生かすかが問われます。何がきっかけになるかは分かりませんが、どの子も伸びる要素を多くもっている。改めてそのことを教えられた発表でした。

【避難訓練を教育の機会に】

地震想定の避難訓練が 17 日に予定されていました。しかし能登半島地震において見附市も震度５強となり、中越地震も経験していない子供たちにとって初めての怖い経験だったと思います。それだけに避難訓練を延期すべきか、職員で議論しました。結論は、「心に配慮しながら教育の機会にしよう。」「少しでも早く登下校時の余震対応を考えよう。」です。当日は、教室で真剣に学ぶ表情が印象的でした（写真左）。

【見附の書道文化】

毎年、書初めの時期に書道ボランティアに来てくださるＫさん。今年も授業後の後始末までお手伝いいただき、本当に助かりました。見小には、真剣に習字に取り組む子が多いと感心しています（写真右）。これは、書道教室で学んだり、市の様々な取組があったりする文化的風土が大きいと感じます。大切にしたい伝統の一つです。

職員一同、2024 年も気を引き締めて見小っ子のために研鑽に励みます。皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。